

リハビリ支援ロボットを共同研究

綾部市立病院（鴻巣寛院長）と京都府立医科大学（吉川敏一学長）は、このほどリハビリテーション先進医療の共同研究を開始。2種類のロボットを導入し、新たな手法の開発を目指します。



府立医大・吉川学長（左から2番目）ら関係者

市立病院に導入のロボット



歩行練習アシスト

下肢まひなどで歩行が不自由な人が、自然な歩行を習得できるよう、リハビリテーション初期段階から練習支援するロボットシステム。関節の角度などのデータを記録し、音や画像で自分の状態が確認できます。本年秋設置予定です。



バランス練習アシスト

バランス確保の不自由な人が、ゲーム感覚で楽しくリハビリテーションを継続できるよう支援するロボットシステム。画面の指示に従い体重移動などの訓練をします。5月に設置されました。

臨床研究を共同で実施

高齢化が進む中、患者の在宅復帰を支援するリハビリテーション医療の重要性が高まっていることから、市立病院は第4次整備の中でリハビリ室を拡充。府立医大も昨年10月からロボットによるリハビリ

テーションの研究開発を進めており、この機会に共同で研究を進めることになりました。府立医大から派遣された専門医と理学療法士の指導により、市立病院のスタッフが条件に合った患者を対象に臨床的な研究を行い、効果を検証します。

住みたくなるまち綾部 定住実績着々と

全国的に地方の人口減少と少子高齢化が問題となる中、市は定住促進を重要施策に位置付け、転入者を増やす取り組みを進め、昨年度も多くの定住が実現しました。

19世帯52人が定住

市は昨年4月、府内初の「綾部市住みたくなるまち定住促進条例」を制定。市民・事業者・行政の役割を明確化し、一丸となって定住促進に取り組みむことを再確認しました。

また、空き家を購入または賃借して行う改修工事に対して補助金を交付する制度も新設。昨年度は19世帯52人の定住を支援しました。

500人超が定住希望

平成27年3月末時点の綾部市への定住希望登録者は551人。しかし、希望者数に比べて紹介できる物件数が少なく、市は空き家の登録制度の活用を呼び掛けています。

～今年の3月に京都市から引っ越してきました～

以前から、子育てをするなら自然の中でと考えていました。もともとカヌーが好きだったこともあり、美しい由良川が流れ、山々の緑が豊かな綾部市に移住を決意。市の定住窓口ではアットホームな雰囲気の中で相談に乗ってもらえ、とても心強かったです。



河地さん一家（十倉中町）

空き家登録にご協力を

現在、空き家として登録されている物件は約20件。定住希望者に提供できる物件が少ないことが課題です。空き家に住民を迎えることは、建物の維持や防犯、防災などの面でメリットも。また、市は「空き家提供報償金制度」を設け、家を提供する際のオーナーの負担軽減を図っています。空き家の活用にお悩みの方は、定住促進課☎内線331へお問い合わせください。

介護保険料

65歳以上の保険料額が決定



基金取り崩し上昇緩和

市はこのほど、本年度の介護保険料（以下、保険料）を決定。対象者には、6月中旬から個別にお知らせしています。

保険料は3年ごとの見直しとなっており、本年度の基準額は前年度比9.55円増の月額6,202円。この額を基準に、所得に応じて納めていただく保険料が決まります。平成27、29年度を計画期間に定めた第7次綾部市高齢者保健福祉計画では、高齢化に伴う要介護認定者の増加や介護施設の充実などで、3年間に必要な費用は約140億円の見込み。これは第6次計画に比べ約16億円の増加。安定

した介護保険制度の運営には、保険料の増額は避けられませんが、市では本年度、基金（貯金）を1億2,000万円取り崩すなどし、保険料の急激な上昇緩和に努めています。

ご協力をお願いします

保険料の納付方法は、特別徴収と普通徴収の2種類です。特別徴収は、年金の定期支払い時（年6回）に保険料を天引き。普通徴収は、市から送付する納付書や口座振替で期日までに納付してください。なお、納付方法は法律などで決まっており、個人で選択できません。

介護保険は、介護が必要な人を社会全体で支える制度。財源は、皆さんが納める保険料と公費です。安心して充実したサービスが利用できるようご協力をお願いします。詳しくは、高齢者介護課☎内線394、395

※保険料は、本人と世帯の課税状況や所得に応じて段階的に決められています。各所得段階の年額保険料は今月号本紙お知らせ版をご覧ください。

善聞 語録



64

初孫の薫陶

齢57にして初孫を持った。「爺」としての感覚はまだそれほどないが、出会う回数が増えるにつれ徐々にその実感も湧いてくるのである。うか。立場上、「子育て支援」とか「次世代のために」といったフレーズを多用してきたが、当事者となるといささか趣が異なってくる。我々の孫世代が成人する頃はいったいどんな世の中になっているのであろうか？

まず願うのは平和であり、そして自由に、夢を持って、健やかに暮らせる世の中である。子や孫を持つ立場として当然の願いであろうが、一方で近代史を振り返ると

還暦を前にした者が戦地に赴くとも思えぬが、息子の世代には何が起きるか…。ましてや孫が成人する時代の内外情勢は如何なるものかと思ひ巡らすと、とても他人事では済ませられなくなる。

さらに、科学技術はどこまで発展しているだろうか？医学の進歩は？宇宙旅行は？…。無邪気に眠る孫の前に、将来への期待と不安は尽きない。と同時に現実に戻る。と、「綾部の爺」として故郷の今と次世代の行く末への責任の重さに改めて身の引き締まる想いである。

山崎善也（綾部市長）



東八田小でスマイル大縄大会

5月29日、上杉町の東八田小学校は、全学年が触れ合い、絆を深めることを目的に、スマイル大縄大会を開催しました。児童らは6つの班に分かれ、大縄跳びやゲームで交流し、「スマイル」で過ごすひとときとなりました。



市長が茶工場を激励

綾部市は緑茶の名産地。全国茶品評会のかぶせ茶の部では毎年、上位入賞を果たしています。5月22日には、山崎市長が市内の製茶工場3か所を訪問。蒸し機や乾燥機などの熱がこもる室内で作業する茶業組合員らを激励しました。茶農家の生産意欲と努力が、香り豊かで良質の綾部茶を支えています。

蚕都・綾部の桑の実を味わう



綾部ベンチャー・ものづくりの会（若山行正会長）は6月5日から約10日間、位田町のマルベリーファームでマルベリー（桑の実）摘みを開催。同園は、蚕都として栄えた綾部の桑畑の魅力伝えようと数年かけて整備され、今年でオープン6年目。子どもたちは口元をマルベリー色に染めながら、甘酸っぱい実をほおぼりました。

出水期に備え 水防訓練を実施



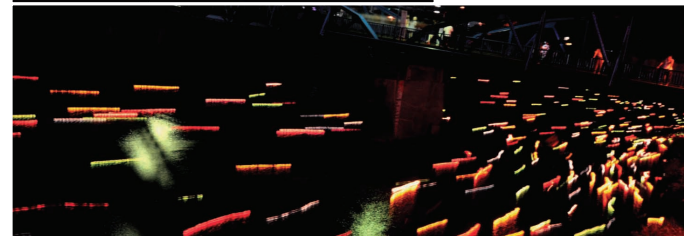
消防協会綾部市支部（馬嶋恒治支部長・市消防団長）は5月24日、水防訓練、操艇訓練、運転技術研修を実施。出水期に備え、川糸町の由良川左岸で各種水防工法を、上野町の綾部小学校プールでは消防団初導入の救助ボートの取り扱いを実践的に習得。

また、市民グラウンドでは、緊急車両の運行や指示の出し方などを訓練しました。



花火だ！踊りだ！お祭りだ！ 7/25 (土)
市制施行65周年記念

あやべ 水無月まつり



夏の最大イベント、市制施行65周年記念あやべ水無月まつり（同まつり実行委員会主催）が7月25日（土）、由良川河畔と市街地を中心に開催されます。恒例の「あやべ良さ来い」はフリー演舞に加え、コンテスト部門を新設。由良川には、美しい万灯の明かりが漂い、4000発の花火が夜空を彩ります。熱気溢れる綾部の夏をお楽しみください。

タイムスケジュール

7月25日(土)

- 10:00~12:00、13:00~15:30
みなつき献血（保健福祉センター）
- 17:15~19:00（予定）
あやべ良さ来い・フリー演舞（西町アイタウン）
- 17:30~19:00
あやべ良さ来い・コンテスト（あやべグンゼスクエア）
- 18:00~21:00
あいセンター無料開放（I・Tビル5階）
- 19:00~
行灯ナイトストリート（大本通り）
- 19:30~
万灯流し（由良川）
- 20:00~20:45
花火大会（由良川河畔）
- 20:40~21:50（予定）
あやべ良さ来い・フリー演舞（西町アイタウン）

7月1日(水)~26日(日)

あやべ水無月ギャラリー（I・Tビル1階）

7月28日(火) 10:00~

水無月大祭（熊野新宮神社）

あやべ良さ来い コンテスト初開催

市内外から多くの踊り手たちが参加し、威勢のよい踊りを披露する「あやべ良さ来い」。今年は、西町アイタウンでのフリー演舞に加え、あやべグンゼスクエアでコンテストを開催。踊りの技術などで順位を競います。



園児の力作が 勢ぞろい

7月1日から26日まで西町一丁目目のI・Tビルで、あやべ水無月ギャラリーを開催。市内各幼稚園、幼児園、保育所の園児が描いたあやべ水無月まつりの絵が展示されます。工夫を凝らした元気溢れる作品をご覧ください。



FMいかる 特別番組

今年、FMいかるのスタジオに加え、花火会場にも特設スタジオを設置。市内の交通情報やイベント情報をリアルタイムでお届けします。また、花火を会場以外から観覧している人のために、ラジオでの実況生中継も行います。

水に感謝「水無月大祭」

並松町の熊野新宮神社では7月28日、田畑をうるおし、梅雨や台風などによる洪水を防ぎ、秋には豊作となるよう、日ごろの感謝と祈りを込め、祭礼が行われます。

ポスターが完成！



綾部高校3年生の林空輝さんが今年のポスターの原画を作成。中心には、花火を見ている女性、周りには、りんご飴やヨーヨー、お面など自身が子どものころから親しんだ水無月まつりでの思い出が描かれています。